

# 情報支援プロボノ・プラットフォーム

---

Information Support *Pro bono* Platform

---

2011年4月1日



<http://www.ispp.jp>

※「プロボノ」とは、弁護士など各分野の専門家が、自分の持つスキルや経験を活かして社会貢献することで、欧米では広く普及しています。

## ICTで何ができるか：情報ギャップの解消にむけて

3月11日の未曾有の大震災後、被災地の多くの方々はきわめて困難な生活を余儀なくされています。震災発生直後から支援活動が開始され、救援物資や義援金等が全世界から寄せられているにも関わらず、被災地には十分な救援物資と体制が提供されていません。

その大きな原因の一つとして、被災地のニーズにしたがって物資と人員等を適正に配分するロジスティクスとそれを支えるべき情報のネットワークが十分に機能せず、「情報ギャップ」が存在していることが明らかになってきました。現地で情報を発信する拠点・人員が損傷を受け、情報の集約・受発信が困難となり、効果的な支援活動が制約される負の連鎖が生じています。

ICT(情報通信)にかかわる者として何ができるのか。被災地・被災者の皆さんの苦境を少しでも軽減し、復旧・復興の活動を効果的に支えるためにどうすればよいのか。その一つの方向が、この「情報ギャップ」の解消をめざす活動と考えます。

ICTに関係する企業・団体・NPO・個人が、プロフェッショナルな知識と技能、各種の資源を持ちより、被災地の支援・復旧活動を支える人と情報の多様なプラットフォームの構築・運用に取り組めます。

※「プロボノ」とは、弁護士など各分野の専門家が、自分の持つスキルや経験を活かして社会貢献することで、欧米では広く普及しています。

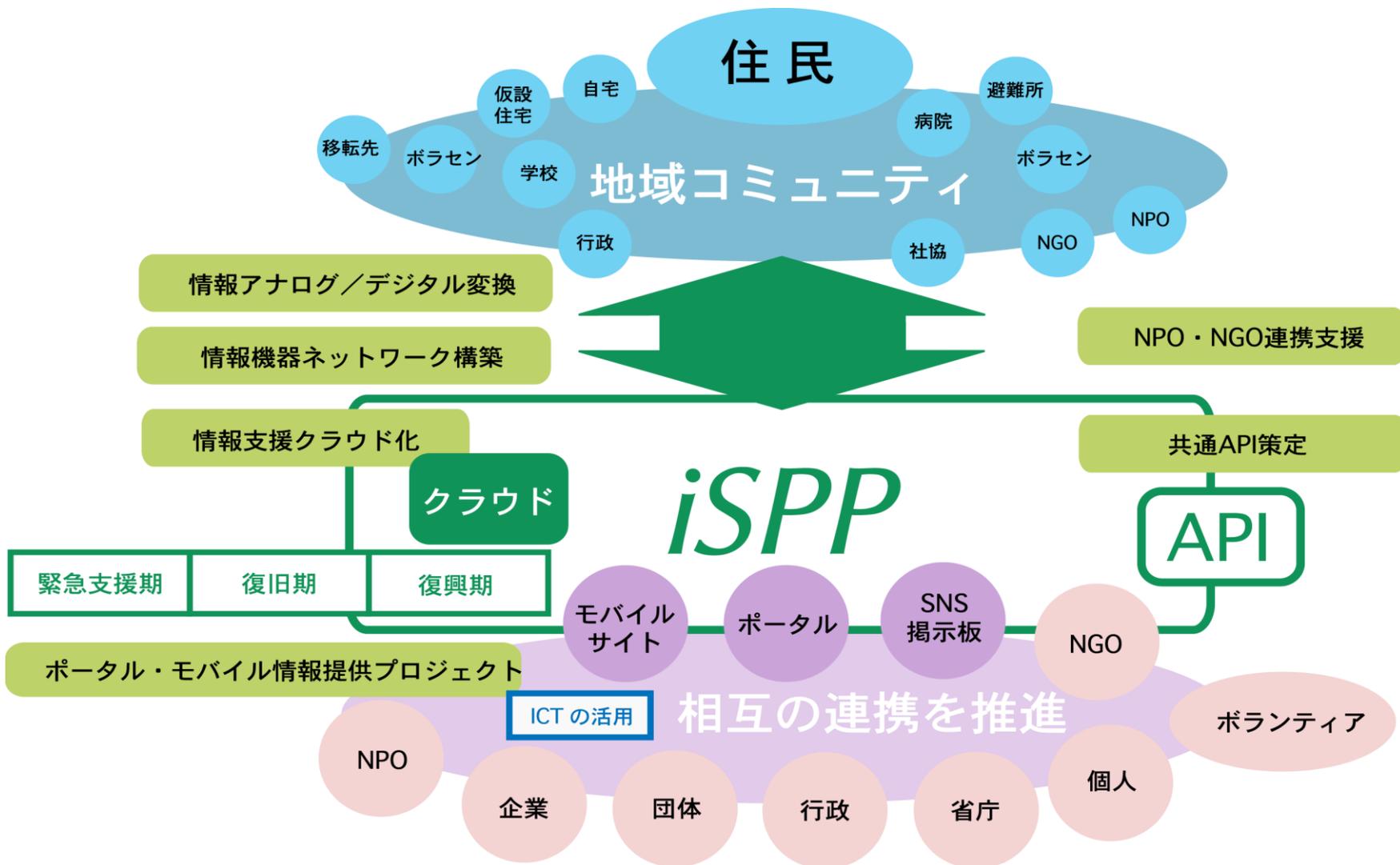
# 被災者支援にオープンなプラットフォーム を構築・運用

被災地・被災者への支援に役立つべく、現地での支援活動を情報面からサポートする。

被災地のアナログ情報のデジタル変換・発信、外部から送られるデジタル情報を現地で活用可能なアナログ情報に変換・提供するなど、AtoDtoA情報ネットワークを構築する活動の基盤となるオープンなプラットフォームを構築・運用する。

主旨を共にする全国各地域の団体・個人に呼びかけ、連携する。

# iSPPの活動(イメージ)



**被災地のニーズに沿って取り組むべきプロジェクトを策定、優先順位を考慮し、必要なリソースを募り、多様なプロジェクトを支えるプラットフォームを運用します。**

(プロジェクトの例)

- A) 被災地情報機器ネットワーク構築プロジェクト
- B) 情報支援共通API策定プロジェクト
- C) 被災地情報デジタル化プロジェクト
- D) 情報支援クラウド化プロジェクト
- E) NPO・NGO連携支援プロジェクト
- F) ポータル・モバイル情報提供プロジェクト

# プロジェクトの概要①

## A) 被災地情報機器ネットワーク構築プロジェクト

現地の救援・支援活動に必要な情報機器(FAX、パソコン、コピー機、プリンター、プロッターなど)を策定し、即稼働できるように整備し、現地の拠点(社協、ボランティアセンターなど)のニーズと照応し、配送・提供・稼働させる。

- 東京側に物流・設定調整などのための物理的拠点(デポ)を設置する
- メーカーなどに機材、人材(設定・運用)の提供を求める
- 現地団体などに、メニューを提示し、利用メリット・ニーズに応じて配備する

## B) 情報支援共通API策定プロジェクト

現在および今後必要となる、ウェブベースでの救援・支援活動のアプリケーション、DB、マッチングシステムなどを対象に、共通APIについて要件定義を行い、開発・実装をおこなう。APIは多様な団体が利用できるよう、オープン環境を前提に構築する。

### 【想定例】

- ・支援物資のニーズと配送
- ・避難所一覧 移転先一覧 仮設住宅などの検索・情報提供
- ・ボランティアの受入れ・送り出し

# iSPP プロジェクトの概要②

情報支援プロボノ・プラットフォーム  
information Support pro bono Platform

## C) 被災地情報デジタル化プロジェクト

被災地に存在している様々なアナログ情報をデジタル化し、発信するシステムの構築・運用。

ボランティアによる情報収集・入力などの運用とそれを支えるツール、プラットフォームなどの開発

## D) 情報支援クラウド化プロジェクト

被災地で稼働が停止している自治体などの公的機能のウェブサービスを、クラウド上に移築、再稼働

- 自治体 社協・ボラセン 学校 図書館 公民館 病院など公的機関のホームページ
- 警察、消防など、アクセスが集中する機関・サービスのクラウド化による支援

## E) NPO・NGO連携支援プロジェクト

多様なNPO・NGOのヨコの情報交換、連携を可能とする情報支援

- 共通プラットフォームの提供

## F) ポータル・モバイル情報提供プロジェクト

検索エンジンやSNS、ブログ等がボランティア・救援物資募集等の情報提供するプロジェクト

- 多様なサイトが情報提供に参加するプラットフォーム

## これまでの経緯と今後の予定

- 3月21日準備会①開催 21名参加
- 3月23日 本文書第一版の完成、関係省庁・自治体・民間各団体等への配布  
ネット内外での周知活動 参加メンバー・発起人募集
- 3月29日 準備会②開催 約80名参加  
コンセプト、活動内容、組織形態などの明確化/合意  
プロジェクト=WGの組成  
オペレーション体制の方向・仕様の確認  
被災地側のニーズ、意向とのすり合わせ。
- 3月31日 事務局会議②開催 16名参加  
NPO法人設立の方向で検討開始・ウェブチーム、Office、Indexチーム発足
- 4月14日 準備会③ 予定
- 4月X日
  - ・主旨説明と設立発表 メディアへの発表
  - ・事務所設置、運用業務開始

# 活動原理と募集概要について

## ●呼びかけ対象団体・参加メンバー・企業などの募集概要

活動の主体＝賛同人を広く募る。

当初は、個人の資格とする。

民間企業、業界団体、NPO/NGO、研究機関、個人などに呼びかける  
東京以外の全国の地域の方々も対象とする。

国の関係省庁、自治体、地域団体などとも積極的に連携する  
海外の団体・個人などにも協力・連携を呼びかける

## ●活動原理

「自律分散協調」を尊重し、自己責任を基本とする。

誰にでも開かれた組織・活動を保ち、多様な特性、専門性、志向性を活用し、異なる主体間の緩やかな情報の共有を尊重する。

個別のアクションは必要かつ実行可能なものとし、現地で活動している行政、NPO・NGO等の活動との重複は避け、情報支援を重視する。

**iSPPP事務局の連絡先**

office@ispp.jp

**連絡用ホームページ**

http://www.ispp.jp